

「アフリカの真珠」ウガンダより 2024 年(令和 6 年)10 月

10 月になるとウガンダも雨季に入ってきます。日本の梅雨のような 1 日中あるいは何日も続けて雨というわけではありません。ただ 1 日中薄曇りが続いたり晴天から急な雷雨、大雨が降ったりします。大雨であっても短時間ですので、カンパラの人たちの知恵は雨の間建物の軒先で雨宿りすることです。ボダボダ(タクシーオートバイ)も橋の下や給油所の軒先でしばらく休憩です。1 時間ほど経てば天候は回復します。

今月は少し趣を変えまして、カンパラ市内で普通に見ることができる、ただし日本では珍しい動植物をご案内したいと思います。

鳥編

カンムリヅル

ウガンダの国鳥。ウガンダの国旗には片足をあげたカンムリヅルが描かれています。これは国が前進の歩みを止めないことを象徴しているとのこと。カンパラ郊外のエンテベ付近で見ることができました。目がぱっちりしています。近くで見るとかなり大柄な感じのヅルです。



[飛び立つところ]



[かなり大柄]

カンムリエボシドリ

ウガンダに赴任する前、アフリカにいたことのある知り合いから目の覚めるような色合いの鳥類を見ることができると聞きました。私が赴任した直後、この鳥は食堂の窓に止まり中を覗き込んでいました。新しい住人が来たのを珍しいと思ったのでしょうか。童話に出てくる「幸せの青い鳥」を連想しました。グループで生活しているようで、かなりの数の仲間がいることに気がつきました。性格はおとなしいのかほとんど鳴き声もしません。風貌といい色合いといい、まさしくアフリカらしい鳥だと思いました。



〔朝にたたずんでいるところ〕



〔飛び立つ瞬間をキャッチ〕

アフリカハゲコウ

見た目ちょっとぎょっとするタイプの鳥です。エンテベにビクトリア湖沿いのゴルフ場があり、そこでも見かけました。湖でとった魚を食べているのを見ました。困ったのはボールをくわえて飛んでいこうとすることです。脅かすと喉に入れたまま飛んでいくので、ゆっくり近づいてボールを落とさせるのがコツだと聞きました。



〔ゴルフ場にて〕



〔ビクトリア湖の魚を捕った〕

ハダダトキ

毎朝「ぎゃー、ぎゃー」とかなりうるさく飛び回っているのがこの鳥です。夫婦仲が良いのか大抵つがいで行動しています。雨が上がった時など、庭で非常に熱心に地面をつついてるので、害虫などを食べてくれているのかもしれませんが。羽は緑色、エメラルド色に見えます。



〔仲良くつがいで行動〕



〔熱心に芝生をつついている〕

植物編

ジャックフルーツ

街中で普通に実をつけている巨大なフルーツです。大きなものはサッカーボール 2 つ分ぐらいにもなります。落下すると危ないので、木の下を通る時は気をつけないといけません。私は以前マレーシアに勤務している時は香りが強いので有名なドリアンを食べたことがあります。ジャックフルーツはまだ試していませんがいずれ機会があればと思っております。



アボガド

日本ではメキシコ産の輸入品が多くを占めるアボガドですが、アフリカにおいても栽培され、近年は生産量も増えてきています。カンパラでもあちらこちらの木に実がなります。日本国内で流通しているより、かなり大型で味も非常に濃厚です。雨季と乾期

が交互に来るウガンダの気候では、雨季の間に成長して乾季に実がなり、収穫時期を迎えるというサイクルのようです。



ハンキング ヘリコニア

生け花では、非常に貴重な花材とされているものです。熱帯性ですのでカンパラでは非常に多く見られます。こちらウガンダでも生け花をする方はいらっしゃいます。これを花材として使うのは、そのダイナミックな成り立ちからそれなりの工夫が必要だと思っています。



(以上)